

働くあなたを応援

中小企業振興条例

④ 融資

本町の中小企業や協同組合などの経営の合理化と経済的地位の向上、事業運営の基礎となる金融の円滑化のため、貸し付けを行っています。

▶対象

- 中小企業等協同組合法による協同組合
- 町内に独立した事業所や店舗を有して事業を行い、事業が北海道信用保証協会の保証対象業種の方
- 町税などを滞納していない方

貸付金の種類	貸付金の用途	貸付限度額		償還期間	
		個人	法人	個人	法人
運転資金	経営合理化に充てるもの	600万円以内	600万円以内	5年以内	5年以内
設備資金	設備の近代化・合理化に充てるもの	1,500万円以内	1,500万円以内	10年以内	10年以内

※申し込み方法／金融機関・北海道信用保証協会の所定の借入申込書に必要書類を添付し、弟子屈町商工会に提出。町を経て金融機関に申し込みます。

※償還方法／割賦償還か一時償還で、運転資金は6カ月以内、設備資金は12カ月以内の据え置き期間を置くことができます。

生産性向上特別措置法に基づく固定資産税の特例

⑤ 導入設備の課税免除

本町に事業所を有する中小企業者が、本町の導入基本計画に基づく先端設備等計画を策定し、町の認定を受けた上で先端設備を導入した場合、導入した設備に対する固定資産税(償却資産)が最長3年間免除されます。

また、固定資産税の特例の対象とならない事業者であっても、計画の認定を受けることにより、国の補助事業の優先採択の対象となる場合があります。

詳しくは、町のホームページ(http://www.town.tehsikaga.hokkaido.jp/04kankou/05sangyou/seisansei_kojyo.html)または、役場観光商工課商工振興係にお問い合わせください。

問い合わせ先／役場観光商工課商工振興係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

弟子屈町インバウンド推進事業対策補助金

町では、訪日外国人観光客受け入れ体制の充実を図るため、町内事業者の方が行う外国人観光客受け入れ対策に係る経費の一部を補助しています。受け入れ対策をお考えの方は、下記までお問い合わせください。

▶補助対象経費

外国語標記による施設のパンフレット類、ホームページ作成や案内板などの作製、生活習慣の相違に対応するための必要な資材の整備など外国人観光客の誘致に関する経費

▶補助の種類と補助率

直接補助で補助対象経費の2分の1以内(上限10万円)

▶補助対象者

町内に事業所を有する法人、町内に住所を有する個人事業主のうち、町税を滞納していない観光関連事業者で、平成30年度において、本事業を利用していない事業者

※2020年3月31日(火)までに補助対象事業を完了する必要があります。

▶受付期間

随時受付しています。先着順で、予算に達し次第、受付を終了します。

▶応募方法

補助金等交付申請書と事業の契約内容、事業内容の分かる書類などが必要になります。

問い合わせ先／役場観光商工課観光振興係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

企業振興促進条例

① 企業振興促進制度

町内の企業振興を促進するため、町内に事業場を新設、または増設する方に対し、助成や固定資産税の課税免除を行う制度です。

対象となるのは、工場や宿泊施設など18事業場です。

また、新設・増設に加え、事業場の移転や、事業場を移転した上で業種を転換する場合も対象となります。

例) 飲食店を新設・増設・移転または他の業種から飲食店に転業する場合

飲食店	対象要件		助成額
	投資額	新規雇用者	
新設	500万円以上	2人以上	投資額の3%以内、上限200万円
増設	150万円以上		投資額の3%以内、上限30万円
移転または転業	50万円以上		投資額の3%以内、上限20万円

(注) その他の業種の事業場については、町公式ウェブサイトをご覧ください。

※投資額／事業場の建物および営業用設備の取得額。

※新規雇用者／事業者が新規に雇用する、本町に住民登録をしている方か、住民登録を予定している方。

② 新規雇用支援

本町に住民登録をしている方か、住民登録をする予定の方を雇用する事業者に対し、その賃金の一部を1年間補助します。

対象事業者 (次の全てに該当すること)	対象となる新規雇用者 (次の全てに該当すること)	利用回数 および人数	補助金額 (月額)
<ul style="list-style-type: none"> ● 弟子屈町に住所を有する方を積極的、かつ継続的に雇用する意思がある事業者 ● 町が出資していない事業者 ● 町税などを滞納していない事業者 ● 雇用保険に加入している、または加入する事業者 ● 過去1年間に事業主の事由による退職者がいない事業者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雇用保険に加入し、1年を超えて雇用される方 ● 当該事業者(法人、その他の団体では、その役員)の3親等以内の親族でない方 	1事業所につき1回、かつ新規雇用者2人まで	1人かつ1カ月ににつき、支払った月額賃金の10分の3の額とし、3万円を限度とする。

③ 空き店舗の活用促進

空き店舗を活用して事業を行う方に、賃借料や改築費を補助します。対象となる空き店舗は、賃貸借契約を締結する際に事業が行われていない店舗および事業用に使用していた家屋などで、次に該当する場合です。

申請者 (次の全てに該当すること)	賃貸借契約の相手方 (次の全てに該当しないこと)
<ul style="list-style-type: none"> ● 新たに開業する方 ● 空き店舗を活用して積極的、かつ継続的に事業を営む意思のある方 ● 町が出資していない法人やその他の団体 ● 町税などを滞納していない方 ● この補助を使用したことがない方 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 補助対象者が個人の場合 <ul style="list-style-type: none"> ● 補助対象者の3親等以内の親族。 ● 補助対象者が役員の方。 ● 補助対象者の3親等以内の親族が役員の方。 ▶ 補助対象者が法人の場合 <ul style="list-style-type: none"> ● 補助対象者の役員、または当該役員の3親等以内の親族。 ● 補助対象者の同族会社。 ● 補助対象者の同族会社の役員または当該役員の3親等以内の親族。

▶補助金の額

● 賃借料補助金

補助期間／2年間

補助金額／営業開始1日目 月額賃借料の3分の2以内で限度額5万円

営業開始2日目 月額賃借料の3分の1以内で限度額2万5,000円

● 改築費補助金

補助対象費／空き店舗の営業に係る部分の改築・改装および営業用設備設置費用

補助金額／改築費用の2分の1以内とし、上限額100万円